

令和5年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

世界史

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから11ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文章A～Cを読み、文中の空欄（a）～（j）に適切な語句を入れなさい。また、後の(1)～(11)の問いに答えなさい。

A 2つの典型的なポリスのうち、①スパルタは閉鎖的で強固な軍事体制を成立させ、商工業の発達した②アテネは試行錯誤の末、民主政を成立させていった。

ペルシア戦争で中心となって戦ったアテネは、スパルタと並び強国としての地位を確立していった。前478年ごろ、ペルシアの再来に備えて、エーゲ海沿岸の約150のポリスが強大な海軍力を有するアテネを盟主として（a）同盟を結成した。参加したポリスは軍船または資金を提供したが、その管理はすべてアテネが行ったため、事実上アテネの支配権が確立した。

③ペルシア戦争終結後、（a）同盟によって強大化したアテネに対して、スパルタを盟主とする（b）同盟の諸ポリスは脅威を感じ、前431年、両者の対立はギリシアを二分する大戦争に発展した。アテネはペリクレスの発案で全住民を城壁内に避難させたが、かえって疫病が流行し、ペリクレス自身も疫病で死去した。その後アテネはデマゴーゴスにあやつられる（c）政治におちいり弱体化した。一方、スパルタはペルシアの支援を受けて優位にたち、④この戦争は前404年にアテネが敗北して終わった。

- (1) 下線部①について、スパルタには、市民がいっさいの生産労働をせずに、少年期から集団生活をして厳格な軍事訓練を行う制度があった。この制度の目的を、次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

ヘイロータイ

- (2) 下線部②について、次の資料1は、アテネの民主政の基礎を築いた人物が行った改革の内容の一部である。資料1から読み取れる改革の内容について、人物名を明記しつつ、説明せよ（資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。）。

資料1

（「西洋古代史料集」東京大学出版会）

- (3) 下線部③について、ペルシア戦争中の無産市民の活躍について、具体的に説明せよ。
- (4) 下線部④について、この戦争後のギリシアについて述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア 長期にわたる戦争によりギリシア全土で農地が荒廃すると、馬と戦車で武装したヒクソスがアジアから移住して王朝を建てた。
- イ アテネでは、債務の帳消しを行い、債務によって奴隷とされることを禁止して平民を保護する改革が行われた。
- ウ この戦争に勝利したスパルタでも、金・銀が流入して土地の売買が始まり、貧富の差が生まれて市民間の平等が失われた。
- エ 文字史料がない暗黒時代に突入したが、ポリス間の闘争は続き、鉄器が広く用いられていった。

B イタリア半島中部のテヴェレ川周辺には、前8世紀中ごろからインド＝ヨーロッパ系イタリア人の一派ラテン人が定住し、都市国家を形成した。これがローマの起源である。その後、先住民の(d)人の王に支配されたが、前6世紀末に王を追放して共和政が成立した。共和政ローマでは、政治の実権は300人の貴族からなる(e)がにぎり、貴族だけがコンスルやディクタトルの地位を独占した。それに対し中小農民を主とする⑤平民は、政治的権利の拡大を要求して貴族と対立した。

軍事力の主力である平民の権利の伸張とともにローマの拡大も加速し、前272年、ローマは南イタリアのギリシア人諸都市を征服してイタリア半島を統一した。

イタリア半島を支配したローマは、さらに西地中海域の覇権をめぐる(f)人の植民市カルタゴと対立して⑥ポエニ戦争を引き起こし、前146年にはカルタゴを滅亡させた。同年、ローマはギリシア全土を征服し支配下においたことにより、地中海世界の大部分を支配するまでになった。

しかし、急速な領土の拡大はローマ社会を変質させた。ローマはイタリア半島以外の海外領土を属州とし直轄支配を行ったが、そこに赴任する総督や騎士身分の徴税請負人は、赴任地での収奪によって巨額の利益を上げた。そして、その利益で土地を購入し、⑦奴隷制大農場経営を行った。その一方で、中小農民は長期にわたる戦争で疲れ、農地も荒廃して没落し、無産市民となって首都ローマに流入した。⑧中小農民の没落に危機感を抱いたグラックス兄弟は、あいついで護民官に就任すると貴族による土地の占有を制限し、土地を無産市民に分配しようと試みた。

(5) 下線部⑤について、次の資料2は「平民の政治的権利の拡大」について、ある生徒が作成したスライドの一部である。

資料2 《平民の政治的権利の拡大》

前450年頃 ・・・慣習法が成文化されたことにより、平民の地位向上につながる。

前367年 リキニウス＝セクスティウス法・・・コンスルの1人は平民から選ばれる。

前287年 ホルテンシウス法

i) に適する法の名称を書け。

ii) ホルテンシウス法の成立により、貴族と平民の政治的権利がどのようになったかについて、生徒に説明したい。あなたであれば、どのように説明するか。ホルテンシウス法の内容に触れながら、書け。

(6) 下線部⑥について、ポエニ戦争が始まった前3世紀における情勢について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 中国では、黄巾の乱をきっかけに、各地に豪族・武装勢力が乱立した。

イ イラン高原北部では、イラン系遊牧民がパルティアを建国した。

ウ 小アジアの西部に建国したリディア王国は鉱山開発と交易で繁栄し、最古の硬貨を発行した。

エ インドでは、グプタ朝の時代にサンスクリット文学が花開き、詩人カーリダーサなどが活躍した。

(7) 下線部⑦について、この農業形態は何と呼ばれるか、書け。

(8) 下線部⑧について、グラックス兄弟が中小農民の没落に危機感を抱いた理由について説明せよ。

C ⑨3世紀、外敵の侵入と内部抗争によってローマは危機的状況となった。この危機の克服をめざした(g)帝は、皇帝の権威を高めるためペルシアの宮廷儀礼を採用し、自らを臣下にドミヌスと呼ばせた。以後ローマの帝政はドミナトゥスと呼ばれる。中央集権的な官僚制を導入して徴税を強化する一方、帝国を4分割して東西の正・副帝が国土の防衛を行う体制を築いた。

さらに⑩コンスタンティヌス帝は、徴税のために(h)の移動を禁じ、都市でも住民の職業を固定化し世襲させた。330年には⑪コンスタンティノープルに遷都し、新たに発行した純度の高い金貨で信用を得て、東方地域では経済活動が活発化した。

しかし、ゲルマン人の大移動に直面した西方地域では、帝国の再建とはいかなかった。392年には、(i)帝がすべての異教を禁止してキリスト教を国教としたが、(i)帝の死後、帝国の東西分立が固定化するなかで、西ローマ帝国は476年ゲルマン人傭兵隊長(j)によって皇帝が廃位され、滅亡した。

(9) 下線部⑨について、この時期は帝国各地の軍団が皇帝を擁立して政権を奪い合う時代であった。このような時代は何と呼ばれるか、書け。

(10) 下線部⑩について、コンスタンティヌス帝が行ったキリスト教に対する政策について、次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

ミラノ勅令	アリウス派
-------	-------

(11) 下線部⑪について、コンスタンティノープルに関して述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア この地は、アレクサンドロスが建設したアレクサンドリアを起源とする都市であった。

イ ユスティニアヌス帝の時代に、この地にノートルダム大聖堂が建設された。

ウ 第4回十字軍により占領され、この地にイェルサレム王国が建てられた。

エ メフメト2世により占領され、この地がオスマン帝国の首都に定められた。

- 2 次の文章A～Cを読み、文中の空欄（a）～（i）に適切な語句を入れなさい。また、後の(1)～(11)の問いに答えなさい。

A 1517年、ヴィッテンベルク大学神学教授①マルティン＝ルターが教皇庁を批判し、宗教改革が始まった。「聖書のみ」をよりどころとし、「信仰のみ」によって救われると説いたルターの考え方は、教皇や教会の権威を否定することになった。ルターは教皇から破門され、②神聖ローマ皇帝が、1521年の（a）帝国議会でその教説の撤回を求めても応じなかった。当時、神聖ローマ帝国は、政治的に皇帝派と反皇帝派勢力に分裂しており、神聖ローマ皇帝に対抗していた諸侯がルターを保護した。反皇帝派の指導者（b）選帝侯フリードリヒの下に身を寄せたルターは、『新約聖書』の（c）語訳を行い、③印刷術を利用して自らの著作を出版した。

- (1) 下線部①について、ルターが批判した内容について、次の資料1中の二重線部が示している事柄を明らかにしながら、説明せよ（資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。）。

資料1

（「新訳 世界史史料・名言集」山川出版社）

- (2) 下線部②について、この時の神聖ローマ皇帝は誰か、書け。
- (3) 下線部③について、15世紀にヨーロッパで金属活字と印刷機による印刷術を発明したドイツ人は誰か、書け。

B ルターを支持する立場から、騎士階層がまず立ち上がり、ついで農民の反乱である④ドイツ農民戦争が起こった。⑤ルターは最初、この反乱に同情的であったが、やがてこれを弾圧する諸侯の側にまわった。

農民反乱が終息すると、神聖ローマ皇帝はシュパイアーで国会を開き、いったん認めたルター派を抑圧しようとしたため、ルター派の諸侯や都市は、1530年に（d）同盟を結成して抗戦した。皇帝の弾圧に抗議したルター派は、プロテスタントと呼ばれ、のちに、新教徒全体をさす言葉となった。両派の争いは、1555年、⑥アウクスブルクの宗教和議で妥協にいたった。

カトリック教会を批判するプロテスタントの宗教改革に対抗して、カトリック教会の側でも、腐敗を改め、勢力を盛り返そうとする動きが生まれた。この運動は、対抗宗教改革と呼ばれる。1545年から63年にかけて断続的に開かれた（e）公会議では、教義の確認と教会の改革がはかられ、その後20世紀にいたるまでのカトリック教会の基本的な指針となった。

対抗宗教改革によるカトリック信仰は、ポルトガルとスペインの勢力を背景として、その進出地域である⑦ラテンアメリカやアジアなどにも広められた。その海外伝道活動の中心となったのが、1534年にスペインのイグナティウス＝ロヨラらによって設立された（f）である。

- (4) 下線部④について、この戦争の指導者は誰か、書け。
- (5) 下線部⑤について、生徒から「なぜルターは反乱を弾圧する側にまわったのですか。」という質問があった。これに対し、あなたであれば、どのように説明するか。次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

諸侯 社会改革

(6) 下線部⑥について、アウクスブルクの宗教和議によってどのようなことが取り決められたか。諸侯と領民それぞれの立場に触れながら、書け。

(7) 下線部⑦について、ラテンアメリカのスペイン植民地では、16世紀から、先住民をカトリックに改宗させることを条件に、土地の管理と先住民の保護をスペイン国王より委託される制度が導入された。この制度は何と呼ばれるか、書け。

C スペイン国王 (g) は、⑧カルヴァン派が勢力を拡大していたネーデルラントにもカトリックを強制して異端審問を行い、これに抗議した農村の中小貴族を弾圧した。このような背景から、1568年、オラニエ公ウィレムを指導者とするオランダ独立戦争が始まった。やがてネーデルラントの北部7州が (h) 同盟を結成して南部10州と分離し、1581年にネーデルラント連邦共和国の独立を宣言した。イギリスなどが北部7州を支援したこともあり、オランダ独立戦争は1609年に休戦が成立し、オランダは独立を事実上勝ちとった。オランダの都市アムステルダムは国際金融の中心となり、⑨17世紀前半にはオランダは学芸も盛んな全盛期を迎えた。

フランスでは、16世紀後半、宗教改革の影響を受けて、貴族や有力な商工業者の間に、ユグノーと呼ばれたカルヴァン派の信徒が増え、カトリック教徒との対立が激化した。両派の対立は、⑩ユグノー戦争と呼ばれる大規模な宗教戦争に発展した。この内乱では、カトリック勢力をスペインが、プロテスタント勢力をイギリスが支援するなど、外国も介入し、30年以上も戦乱が続いた。また、内乱の中で、(i) 朝が断絶し、ブルボン朝にかわった。

ドイツでは、アウクスブルクの宗教和議が成立したのちも、カトリックとプロテスタントの宗派対立は続き、1618年、ボヘミアのプロテスタントが、カトリックのハプスブルク家の支配に抵抗したことから、ほぼ全ヨーロッパを巻き込む⑪三十年戦争が始まった。

(8) 下線部⑧について、カルヴァン派は各地でさまざまな呼び名がつけられた。スコットランドにおけるカルヴァン派は何と呼ばれたか、書け。

(9) 下線部⑨について、17世紀前半のオランダに関係する出来事について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア アンボイナ事件によって、インドからイギリス人が追放された。

イ 北米にニューネーデルラント植民地の中心地としてニューアムステルダムが建設された。

ウ 高等法院を中心とするフロンドの乱が起こったが、鎮圧された。

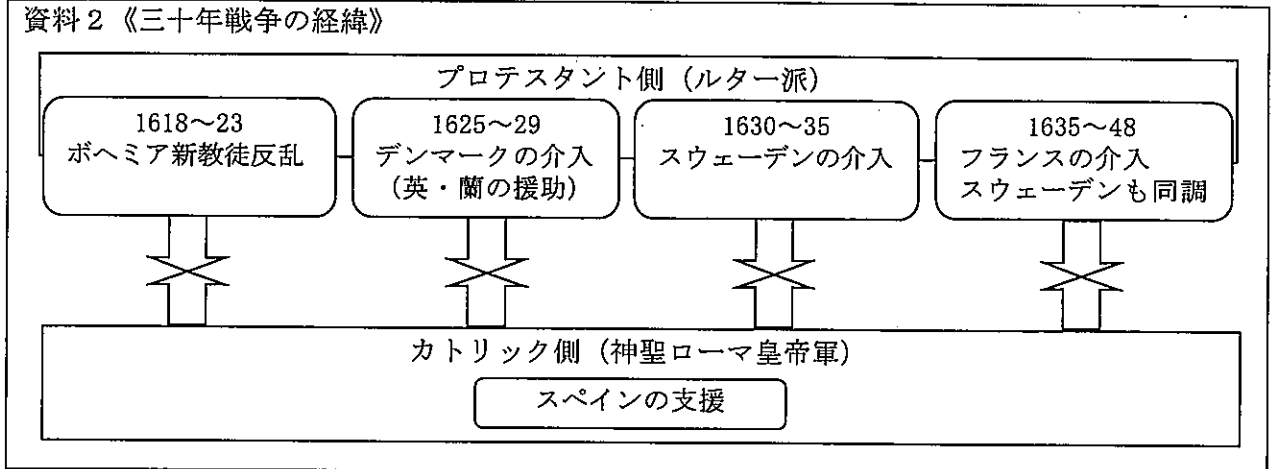
エ ケネーが『経済表』を著し、重農主義を主張した。

(10) 下線部⑩について、ユグノー戦争が終結に向かうきっかけとなったフランス国王の政策について、国王名を明記しながら次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

カトリック	ナントの王令
-------	--------

- (11) 下線部⑪について、次の資料2は「三十年戦争の経緯」について、生徒の理解を支援するために作成した板書の一部である。

資料2 《三十年戦争の経緯》



- i) この戦争で神聖ローマ皇帝軍の総司令官を務めた傭兵隊長は誰か、書け。
- ii) 上記の板書を用いて、三十年戦争が持つ性格の変化について、板書に書かれた各国の動向に触れながら理解させたい。あなたであれば、どのように説明するか、書け。

- 3 次の文章は、「高等学校学習指導要領」（平成 30 年 3 月告示）の世界史探究の「2 内容」の大項目「C 諸地域の交流・再編」から一部抜粋したものである。後の(1)～(3)に答えなさい(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

(2) 結び付くユーラシアと諸地域

諸資料を活用し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを基に、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播，ヨーロッパ封建社会とその展開，宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解すること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(イ) 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸地域へのイスラーム拡大の要因，ヨーロッパの社会や文化の特色，中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し，表現すること。

問 上の文章の二重線部に留意した上で、「アフリカ・アジアへイスラームが伝播した歴史的経緯と要因」という主題を設定し、資料を活用して探究する 2 単位時間の授業を実施した。

(1) 第 1 時の冒頭において、資料を用いて現在とのつながりに関わる問いを設定した。あなたであれば、どのような問いを設定するか。その際に用いる資料に触れながら、書け。

(2) 第 1 時は、アフリカ・アジアへイスラームが伝播した経緯について、生徒が調べ、まとめる活動を設定した。次の資料 1 は、配布されたワークシートに、ある班の生徒たちが分担して調べたことをまとめた内容である。

資料 1

アフリカ	ガーナ王国と地中海沿岸のイスラーム国家との間の塩金交易により、西アフリカにムスリム商人が移住した。11 世紀後半、ムラービト朝の攻撃によりガーナ王国が衰退したことも、西アフリカのイスラーム化を促進する原因となった。
東アジア	10 世紀後半になると、ムスリム商人が広州、泉州などに居留地を形成した。
南アジア	7～8 世紀にインド洋交易が発展すると、インド西海岸にムスリム商人の居留地が成立した。アフガニスタンを拠点とするトルコ系のガズナ朝やイラン系のゴール朝が北インドへの侵攻を繰り返し、13 世紀初めに①インド初のイスラーム王朝が誕生した。
中央アジア	ムスリム商人の活動が活発となる中、トルコ人がイスラームと接触した。カラハン朝が、トルコ系王朝の中で初めてイスラームを受容し、10 世紀末には②イラン系の王朝を滅ぼした。これにより、東西トルキスタンのトルコ化・イスラーム化が促進された。
東南アジア	インド洋をめぐるネットワークにより多数のムスリム商人が訪れ、13 世紀には、スマトラ島北部などで、現地の支配者が改宗する例もみられた。15 世紀には、マラッカ王国の王がイスラームを受け入れ、島しょ部各地にイスラームが拡大した。

- i) 下線部①について、この王朝の創始者は誰か、書け。
 ii) 下線部②について、10 世紀末にカラハン朝に滅ぼされたイラン系の王朝名を書け。
 iii) ある生徒から、「資料集の中に、アフリカ東海岸部にもムスリム商人が住みついていたとの記述を見つけたよ。」との声があった。アフリカ東海岸部へのイスラームの伝播について、生徒に気付かせたい内容を、現在とのつながりを踏まえ、以下の語句を用いて書け。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

スワヒリ語

- (3) 第2時は、調べた内容を基に、アフリカ・アジアへイスラームが伝播した要因について考察し、ICT機器を活用して発表する活動を行った。次の資料2は、「アフリカ・アジアへイスラームが伝播した要因」について、ある班の生徒たちがまとめた内容である。

資料2

ムスリム商人の陸上と海上にわたる交易ネットワークの発展が、アフリカやアジアへイスラームが伝播したことの要因である。

- i) 資料2の内容に加え、生徒に気付かせたい内容を、以下の語句を用いて書け。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

イスラーム神秘主義

- ii) ある生徒から、「発表するときに、地域ごとにまとめた一覧表を示すだけでは、アフリカやアジアへイスラームが伝播した経緯と要因についての理解が深まらないのではないかな。」との声があった。あなたであれば、生徒たちが発表する際、主題についての理解を深めるために、ICT機器を活用してどのような工夫ができると助言するか、書け。

- 4 次の文章A、Bを読み、文中の空欄(a)～(j)に適切な語句を以下の語群ア～ツよりそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。また、後の(1)～(10)の問いに答えなさい。

語群

ア：鄧小平	イ：延安	ウ：李承晩	エ：盧溝橋	オ：劉少奇	カ：重慶
キ：孫文	ク：袁世凱	ケ：柳条湖	コ：フランス	サ：スペイン	シ：済南
ス：周恩来	セ：広州	ソ：李登輝	タ：林彪	チ：ポルトガル	ツ：奉天

A 中国では、中国国民党を基盤に革命運動の推進を目指していた(a)が、①1924年、国民党を改組して党組織の近代化を図るとともに、共産党員が個人の資格で入党することも認めた(第1次国共合作)。(a)死後、1925年7月、国民党は(b)で国民政府を樹立し、翌1926年には、②蔣介石の率いる国民革命軍が中国統一を目指して北伐を開始し、1928年、国民政府の全国統一は一応達成された。

一方、中国共産党は、1927年の国共分裂後、数回の蜂起を試みたが失敗し、農村でソヴィエト政権をつくる方針に転換し、1931年には③臨時政府を成立させた。1934年、共産党軍は、国内の統一を目指す国民政府の軍隊の攻撃を受けて、(c)を中心とする奥地の陝西・甘肅省を目指す長征を実行した。この過程で④共産党内の毛沢東の指導力が高まり、1936年の西安事件後、国民党と共産党は再び接近することとなった。1937年7月、北京郊外の(d)付近で発生した軍事衝突をきっかけに日本軍は中国に兵を進めた。中国では同年9月に第2次国共合作が成立し、日中両国は全面的な交戦状態に入り、宣戦布告のないまま⑤日中戦争が始まった。中国は、アメリカ・イギリス・ソ連の援助を受け、政府を南京から武漢、さらには奥地の(e)に移して抗戦を続けた。1940年、日本は東亜新秩序建設を掲げ、(e)政府に対抗して、⑥南京に親日政権を設立させたが、中国民衆の支持を得られなかった。

- (1) 下線部①について、1924年の国民党一全大会において決定された方針を3つ書け。

B 中国では、⑦第二次世界大戦後の1949年、毛沢東を主席、(f)を首相とする中華人民共和国の成立が宣言された。1950年には中ソ友好同盟相互援助条約が調印され、⑧中国は社会主義圏に属する姿勢を明らかにした。中国は、1950年代前半に戦前の農工業生産額を超えたが、やがて強引な工業化・農業集団化政策や共産党支配への批判があらわれた。毛沢東は批判勢力に反撃し、急激な社会主義建設を目指す運動を指示して、農村での人民公社設立を進めた。しかし、経済は大打撃を受け、自然災害も重なり膨大な餓死者が発生し、1959年には毛沢東に代わって(g)が国家主席となった。

毛沢東と軍人の指導者の(h)らは、全国にプロレタリア文化大革命という新たな革命運動を呼びかけて指導力の回復を図った。10年にわたる文化大革命は中国内部に深刻な社会的混乱をもたらしたが、1978年、(i)を中心とした新指導部は経済建設を重視する方針への転換を決定し、「⑨四つの現代化」など改革・開放路線を推進していった。しかし、共産党の一党支配の持続や民主化なき経済改革への不満が学生・知識人の間に広まり、彼らは⑩1989年に民主化を要求したが、政府はこれを武力でおさえた。

中国は、(i)の指導の下に改革・開放政策を進めた結果、1990年代以降、著しい経済成長を遂げた。1997年にはイギリスから香港が、1999年には(j)からマカオが中国に返還されたことも、中国の経済力を高めた。この政策は、その後、歴代の国家主席によって継承され、中国は、2010年には国内総生産(GDP)で世界第2位となり、急速な経済発展を続けている。

(7) 下線部⑦について、第二次世界大戦後の情勢について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア フランス領インドシナでは、阮朝最後の王バオダイがベトナム民主共和国の独立を宣言したが、フランスはこれを認めず、インドシナ戦争が勃発した。

イ エジプトの大統領となったナセルがスエズ運河の国有化を宣言したことを契機に、第3次中東戦争が勃発した。

ウ 1967年、インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイの5か国が、東南アジア諸国連合(ASEAN)を結成した。

エ イランでは、1979年にモサデグによる近代化路線に反対するイラン革命がおこり、宗教指導者ホメイニを中心とするイラン＝イスラーム共和国が成立した。

(8) 下線部⑧について、1956年のフルシチョフによるスターリン批判を契機に、中華人民共和国は次第にソ連と対立するようになり、1960年代末には中ソ国境の各地で武力衝突が発生した。このような中ソ対立の激化を受け、アメリカ合衆国と日本は中国との関係をどのように変容させていったのか。1970年代の情勢を中心に、次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

カーター	ニクソン	田中角栄	日中平和友好条約
------	------	------	----------

(9) 下線部⑨について、この4つの分野として当てはまらないものを次のア～オより1つ選び、記号で答えよ。

ア 科学技術 イ 教育 ウ 工業 エ 国防 オ 農業

(10) 下線部⑩について、この事件は何と呼ばれるか、書け。

5 勢力均衡によって大国間の戦争を防ごうとしたウィーン体制の崩壊以降、19世紀後半のドイツでは、プロイセンが軍事力を強化し、オーストリアやフランスとも戦火を交えながら、強引にドイツ統一を目指した。

以上を踏まえ、19世紀後半におけるドイツ帝国成立までの経緯について、300字以内で記述しなさい。なお、それぞれの語句を初めて使用した箇所に下線を付すこと。算用数字は1マスに2桁まで可とし、国名は漢字略称を使用してもよい。

鉄血政策	シュレスヴィヒ	北ドイツ連邦	ナポレオン3世
------	---------	--------	---------

世界史解答用紙	2 枚中の 1	受験 番号	氏 名	(5 年)
---------	---------	----------	--------	---------

1

/	a		b		c	
	d		e		f	
	g		h		i	
	j					
(1)						
(2)						
(3)						
(4)						
(5)	i)					
	ii)					
(6)		(7)				
(8)						
(9)						
(10)						
(11)						

2

/	a		b		c	
	d		e		f	
	g		h		i	
(1)						
(2)		(3)		(4)		
(5)						
(6)						
(7)		(8)		(9)		
(10)						
(11)	i)					
	ii)					

以下はあくまでも解答の一例です。

世界史解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏名	(5年)
---------	-------	------	----	------

1 【52点】

【各2点】

	a	デロス	b	ペロポネソス	c	衆愚
	d	エトルリア	e	元老院	f	フェニキア
	g	ディオクレティアヌス	h	コロヌス	i	テオドシウス
	j	オドアケル				
(1)	(例) 隷属民であるヘイロータイの反乱に備えるため。					【2点】
(2)	(例) クレイステネスが、それまでの血縁的な4部族を解体して、新たに地縁的な10部族を創設した。					【3点】
(3)	(例) 無産市民が軍艦の漕ぎ手として活躍した。					【3点】
(4)	ウ	【2点】				
(5)	i)	十二表法	【3点】			
	ii)	(例) 平民会の決議が貴族をも拘束する国法となることが認められ、貴族と平民が法の下で平等になった。				【3点】
(6)	イ	【2点】	(7)	ラティフンディウム	【3点】	
(8)	(例) 重装歩兵として軍隊の主力であった中小農民の没落は、ローマの軍事力の弱体化につながるから。					【2点】
(9)	軍人皇帝時代	【3点】				
(10)	(例) コンスタンティヌス帝は、ミラノ勅令を発してキリスト教を公認した後、325年にニケーア公会議を開いた。この公会議では、アリウス派が異端とされ、アタナシウス派が正統とされた。					【4点】
(11)	エ	【2点】				

2 【54点】

【各2点】

	a	ヴォルムス	b	ザクセン	c	ドイツ		
	d	シュマルカルデン	e	トリエント	f	イエズス会		
	g	フェリペ2世	h	ユトレヒト	i	ヴァロワ		
(1)	(例) 聖ピエトロ大聖堂の改築費用を集めるために、教皇レオ10世が贖宥状(免罪符)を販売し、金銭によって罪が許されるとしたこと。					【3点】		
(2)	カール5世	【3点】	(3)	グーテンベルク	【3点】	(4)	ミュンツァー	【3点】
(5)	(例) 農民戦争が農奴解放などの社会改革の性格を持つようになったことに対し、ルターは諸侯の保護を受けており、身分制度などの社会秩序を破壊することには反対であったから。					【2点】		
(6)	(例) 諸侯はカトリックカルター派のいずれかを選択し、領民はその支配者の宗派に従うこと。					【3点】		
(7)	エンコミエンダ	【3点】	(8)	プレスビテリアン	【3点】	(9)	イ	【2点】
(10)	(例) 本来ユグノーであったアンリ4世が、自らカトリックに改宗し、ナントの王令を発して、ユグノーに信仰の自由を認めた。					【3点】		
(11)	i)	ヴァレンシュタイン	【3点】					
	ii)	(例) ボヘミアの新教徒反乱を契機に開始された三十年戦争は、当初カトリックとプロテスタントの宗教対立が主軸であったが、新教国デンマークやスウェーデンが介入したり、カトリック国のフランスがプロテスタント側で参戦したりするなど、宗教対立を超えた主権国家同士の争いへと変化していった。				【5点】		

世界史解答用紙	2枚中の2	受験 番号	氏 名	(5年)
---------	-------	----------	--------	------

3 【18点】

(1)	(例) イスラーム教徒についての人口割合が高い数カ国を提示し、「アフリカやアジアにイスラーム教徒の人口割合が高い国が多いのはなぜか。」という問いを設定する。 【2点】		
(2)	i)	アイバク	ii) サーマーン朝 【各3点】
	iii)	(例) アフリカ東海岸部に住みついたムスリム商人の公用語はアラビア語であり、その影響を受けて成立したスワヒリ語が、現在もアフリカ東海岸地域で広く使用されていること。 【4点】	
(3)	i)	(例) 神との一体を目指すイスラーム神秘主義の教えが、アフリカ、中国、インド、東南アジア地域へイスラームを広める要因にもなったこと。 【3点】	
	ii)	(例) 王朝の支配領域の変化を視覚的に示したり、ムスリム商人の交易ルートやイスラーム伝播の経路などを1枚の地図にまとめてスライドで示したりするといった工夫ができる。 【3点】	

4 【60点】

【各3点】

	a	キ	b	セ	c	イ		
	d	エ	e	カ	f	ス		
	g	オ	h	タ	i	ア		
	j	チ						
(1)	連ソ		容共		扶助工農 【順不同 各1点】			
(2)	(例) 張作霖爆殺事件後、日本に対抗するために張学良が国民革命軍の中国東北地方の支配を認めた。 【3点】							
(3)	臨時政府名	中華ソヴィエト共和国臨時政府 【2点】			首都名	瑞金 【2点】		
(4)	(例) 共産党が資料3(八・一宣言)の中で、国民党との内戦停止と抗日民族統一戦線の結成を呼び掛けているように、満州事変による日本の軍事侵略が進む中で、中国において抗日意識が高まったこと。 【3点】							
(5)	ウ	【2点】	(6)	汪兆銘	【3点】	(7)	ウ	【2点】
(8)	(例) ベトナム戦争にいきづまっていたアメリカは中国に接近するようになり、1972年にニクソン大統領が訪中した後、1979年にはカーター大統領が中国との国交を回復した。日本も、1972年に田中角栄首相が訪中して日中共同声明により国交を回復した後、1978年には日中平和友好条約を締結した。 【5点】							
(9)	イ	【2点】	(10)	天安門事件(第2次天安門事件)		【3点】		

5 【16点】

プロイセン首相となったビスマルクは鉄血政策を採用し、武力によ	るドイツ統一をめざした。まずプロイセンはオーストリアとともに	デンマークを攻め、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン両公国を奪つ	た。両公国の帰属をめぐる普墺戦争がおきると、プロイセンはオ	ーストリアを破り、プロイセンを盟主とする北ドイツ連邦を成立さ	せた。プロイセンの強大化をおそれたフランス皇帝ナポレオン3世	はビスマルクの挑発に乗って普仏戦争を始めたが、北ドイツ連邦と	南ドイツ諸邦により結成されたドイツ軍はフランス軍を圧倒し、フ	ランス北部のスタダンでナポレオン3世を捕虜とした。1871年にはヴ	イルヘルム1世がドイツ皇帝に即位し、ドイツ帝国が成立した。
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------

30

270

300